

凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

・便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。

■ 設定のしかた

・凍結防止の前に

リモコンで、「オート便器洗浄」「オートふた開閉」を「切」にしてください。

■ 凍結防止中のウォシュレットの動作

- ・「運転」ランプが点滅する
- ・約10分間隔で便器洗浄(約4.8L)する
- ・約50mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)



オート便器洗浄

自動で便器洗浄する/しない
オート便器洗浄

自動で便器洗浄するまでの時間を定める
水が流れるまでの時間 ※2

リモコン表面

- 1 洗浄 押す

押すたびに切り替わる
自動で便器洗浄 ※オート洗浄ランプで確認 (P.26)

「する」とき
点灯 洗浄

「しない」とき
消灯 洗浄

<設定完了>

- 1 上 押す
リモコンランプが点灯・点滅するまで押す(約10秒)
- 2 せりのソフト 押す
- 3 ビチワイド 押す
- 4 設定したい項目を選んでボタンを押す

「短い」にするとき	「標準」にするとき	「長い」にするとき
水勢 -	せりのソフト	水勢 +
ピピッ	ピーッ	ビッ

「短い」 約5秒後
「標準」 約10秒後
「長い」 約15秒後

●「便ふた閉止後洗浄モード」が「入」の場合は、上記で便ふたが開まったあと、水が流れます。

<設定完了>

オートふた開閉

自動で便ふたを開閉する/しない
オートふた開閉

自動で開まるまでの時間を定める
ふたが開まるまでの時間 ※4

リモコン表面

- 1 開閉 押す

押すたびに切り替わる
自動で便ふたを開閉 ●オート開閉ランプで確認 (P.26)

「する」とき
点灯 開閉

「しない」とき
消灯 開閉

<設定完了>

- 1 上 押す
リモコンランプが点灯・点滅するまで押す(約10秒)
- 2 ビチワイド 押す
- 3 せりのソフト 押す
- 4 設定したい項目を選んでボタンを押す

「短い」にするとき	「標準」にするとき
水勢 -	水勢 +
ピッ	ピーッ

「短い」 約25秒後
「標準」 約90秒後

<設定完了>

■ ご使用のタイプを選択してください



凍結予防方式	便器品番
流動方式	品番に「H」なし
ヒーター付便器・水抜併用方式	品番に「H」あり

流動方式

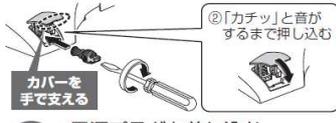
ヒーター付便器・水抜併用方式

流動方式（ヒーター付便器・水抜併用方式以外）

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

便器の水たまり面を下げる (水の乾かえり低減や快便のときなど) 水面下げる	便器とウォシュレットの水を一定の間隔で自動で流す 凍結防止	電子音を鳴らす/鳴らさない 電子音												
<p>1  と  リモコンランプが点灯・点滅するまで押す (約10秒) </p> <p>2  押す</p>														
<p>3  押す</p> <p>4  押す</p> <p> ビッ</p> <p>便器内の水が流れて低い水位でたまる <設定完了></p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 便器洗浄すると、通常の水面の高さに戻ります。水面を下げて使いたい場合に、都度設定してください。 	<p>3  押す</p> <p>4 設定したい項目を選んでボタンを押す ・「する」に設定すると、約10分間隔で便器洗浄して凍結を防止します。</p> <table border="1" data-bbox="708 949 892 1084"> <tr> <th>「する」とき</th> <th>「しない」とき</th> </tr> <tr> <td> 水勢 +</td> <td> 水勢 -</td> </tr> <tr> <td> ビッ</td> <td> ビーッ</td> </tr> </table> <p><設定完了></p>	「する」とき	「しない」とき	 水勢 +	 水勢 -	 ビッ	 ビーッ	<p>3  押す</p> <p>4 設定したい項目を選んでボタンを押す</p> <table border="1" data-bbox="924 904 1107 1039"> <tr> <th>「鳴らす」とき</th> <th>「鳴らさない」とき</th> </tr> <tr> <td> 水勢 +</td> <td> 水勢 -</td> </tr> <tr> <td> ビッ</td> <td> ビーッ</td> </tr> </table> <p><設定完了></p>	「鳴らす」とき	「鳴らさない」とき	 水勢 +	 水勢 -	 ビッ	 ビーッ
「する」とき	「しない」とき													
 水勢 +	 水勢 -													
 ビッ	 ビーッ													
「鳴らす」とき	「鳴らさない」とき													
 水勢 +	 水勢 -													
 ビッ	 ビーッ													

ヒーター付便器・水抜併用方式

- 1** 水抜栓を操作して、給水を止める
お願い
 - 止水栓は開けたままにしておいてください。
(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)
 - 2** **押し**
ノズルを押し
 - 給水管の圧抜き
 - 3** 電源プラグを抜く
 - 4** 配管の水を抜く
①便座・便ふたを開ける
 - 5** 給水フィルター付水抜栓を取り付け、カバーを閉める
①給水フィルター付水抜栓を押し込み、
 ②ドライバーで確実に締める
②「カチッ」と音がするまで押し込む

 - 6** 電源プラグを差し込む
・「運転」ランプが点灯する
 - 7** すっきりパネル(右)を取りはずす

 - 8** タンクの水を抜く
・すっきりパネル裏面のラベル「タンク内水抜き作業手順」参照
 - 9** 便座温度を「高」にする
・保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく
- 再度ウォシュレットをお使いになるときは
 ・再通水が必要です。
- お知らせ**
- ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
 - 凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。
(タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)(凍結して製品破損などをおこす原因)

ご注意 ・「お掃除リフト」で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

水抜きのしかた

- 1** ■流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)のとき
 止水栓または元栓を閉める
 ■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき
 水抜栓を操作して、給水を止める
お願い
 - 止水栓は開けたままにしておいてください。
- 2** **押し**
ノズルを押し
(給水管の圧抜き)
- 3** **押し**
ノズルを押し
(給水管の圧抜き)
- 4** 電源プラグを抜く
- 5** 配管の水を抜く
凍結のおそれがあるときは
 - 便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)**再度ウォシュレットをお使いになるときは**
 - 再通水が必要です。

再通水のしかた

- 1** 止水栓または元栓を開ける
 または、水抜栓を操作して、給水する
 - 配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する
- 2** 電源プラグを抜いているときは
 電源プラグをコンセントに差し込む
 - 「運転」ランプが点灯する
- 3** ①ノズルから水を出す
(1)手または腕で着座センサー部に触れたまま、
 (2)リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す
・水は紙コップなどで受けてください。
 (3)手または腕を着座センサー部からはずす
②押し
ノズルを押し
 - タンクに水がたまっていないときは、便器洗浄できません。その間はすべての操作をしないでください。
(タンク給水中は、本体表示部のランプが点滅し、給水が完了すると点灯に変わります。)
 給水完了まで80秒程度かかります。(給水圧などの使用条件によって左右されます。)
 - 残水が凍結して水が出ないとき
 - トイレ内を暖め、お湯に濡した布で給水ホースと止水栓を温める
- 4** 便器に水がたまってから、もう一度 **押し** を押す

※1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているとき、便ふたが閉まったあと便器洗浄します。(RS1以外)